



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18 年 2 月 7 日

上場会社名 株式会社バンプレスト
(URL <http://www.banpresto.co.jp/>)

(コード番号: 7854 東証第 1 部)

問合せ先 代表者 代表取締役社長
責任者 取締役管理副本部長

仲田 隆司
折内 光雄

TEL: (03)3842-1206

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
法人税等の算出は法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
セグメント事業区分を変更しております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	28,506	11.0	2,978	111.2	2,992	103.7	1,574	192.2
17年3月期第3四半期	25,692	19.0	1,410	27.2	1,468	59.2	538	56.0
(参考)17年3月期	34,434		1,755		1,835		770	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	147	75	147	15
17年3月期第3四半期	51	08	51	07
(参考)17年3月期	69	13	69	12

(注)①売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

②期中平均株式数 普通株式 当四半期 10,656,965株 前年同四半期 10,552,229株 17年3月期 10,552,221株

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%	円	銭	
18年3月期第3四半期	30,546		18,546		60.7	1,723	38	
17年3月期第3四半期	25,297		16,617		65.7	1,574	82	
(参考)17年3月期	25,707		16,700		65.0	1,578	71	

(注)期末発行済株式数 普通株式 当四半期 10,761,495株 前年同四半期 10,552,195株 17年3月期 10,552,195株

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	3,136	△508	△439	10,371
17年3月期第3四半期	1,032	△2,943	2,255	6,933
(参考)17年3月期	2,115	△2,864	2,317	8,111

3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

通 期	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
	37,500	3,000	1,650

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 150円00銭

※ 上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成17年4月1日から平成17年12月31日まで)における我が国経済は、企業収益の改善が続く中、雇用情勢は厳しさが残るものの改善に広がりが見られ、設備投資の増加や生産の持ち直しにより個人消費も緩やかに増加している等、景気は総じて緩やかに回復傾向にあります。

このような経営環境の中、当社グループは、「キャラクターアミューズメント NO. 1の感動創造企業」を目指すため、当連結会計年度より、「バンプレストイノベーション」をスローガンに掲げた新中期経営計画をスタートさせ、従来までなかった新たな価値を提供する商品・サービスに加え、それを実現させるビジネスプロセスと私たちのマインドのイノベーション(革新)に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期の業績は、売上高285億6百万円(前年同四半期比11.0%増)、営業利益29億7千8百万円(前年同四半期比111.2%増)、経常利益29億9千2百万円(前年同四半期比103.7%増)、四半期純利益は15億7千4百万円(前年同四半期比192.2%増)となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(アミューズメント事業)

アミューズメント事業におきましては、対象年齢層の拡大を図った戦略商品「データカードダス」が好評を博し、機器・カードの販売が好調に推移しました。また、女性やファミリー等のライトユーザー層向けに展開した「ケロロ軍曹」や「ドコモダケ」関連のアミューズメント用景品が好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期の売上高は143億4千5百万円(前年同四半期比34.7%増)、営業利益は13億3千9百万円(前年同四半期比17.9%増)となりました。

(施設運営事業)

施設運営事業におきましては、屋内型のアミューズメント施設では、不採算店舗であった「キッズプラザきゃらんど津田沼店」を10月に閉店し、12月に「キッズプラザきゃらんど三郷店」を新規開店しましたが、売上構成比率の高かったプライズゲーム機の人気が一巡し、既存店の売上対前年比率は92.0%となりました。また、花やしき運営事業では、浅草の「江戸街構想」に合わせ外壁のリニューアルを行い、カーニバルゲームやフードコーナー等の設備投資を行うと共に、8月に開通した「つくばエクスプレス」の効果もあり、集客数及び売上高は好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期の売上高は28億5千2百万円(前年同四半期比34.9%増)、営業利益は1億9百万円(前年同四半期は2億4千5百万円の営業損失)となりました。

(家庭用ゲームソフト事業)

家庭用ゲームソフト事業におきましては、7月に発売した有力タイトルの「第3次スーパーロボット大戦α」の販売が好調に推移し、プレイステーション2用ソフトの新たなジャンルに挑戦した絢爛剣術アクションゲーム「義経紀」や、新ハード向けのソフトの販売をいたしました。当初の計画を達成するには至りませんでした。

この結果、当第3四半期の売上高は77億5千7百万円(前年同四半期比3.6%減)、営業利益は14億9千万円(前年同四半期比152.5%増)となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、家庭用ゲームソフト「スーパーロボット大戦オリジナルジェネレーション」シリーズのオリジナル商品展開や、「バスパレット」等の癒し系のインテリア雑貨が堅調に推移しましたが、前年同四半期のヒット商品「ドラゴンボールZポージングフィギュア」シリーズの売上を補うまでには至りませんでした。印刷関連事業においては、引き続き外部顧客との取引を拡大しており、業績に貢献しました。しかしながらインターネットコンテンツ事業においては引き続きコストの見直し等効率化に努めましたが、コンテンツ参加者が伸び悩み収益化には至っておりません。

この結果、当第3四半期の売上高は45億7千7百万円(前年同四半期比22.0%減)、営業利

益は3億1千3百万円(前年同四半期比51.5%増)となりました。

なお、当連結会計年度よりセグメント事業区分の変更をしております。詳しくはセグメント情報の注記4を参照ください。また、前年同期比は当第3四半期と同じセグメント事業区分に変更して比較しております。

当第3四半期のセグメント別の概況における各セグメントの売上高には、セグメント間取引を含んでおります。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

(1) 当第3四半期末の資産、負債、資本の状況

総資産は前連結会計年度末に比べ48億3千8百万円増加して、305億4千6百万円となりました。これは主に、前連結会計年度末に比べ売上回収等により現金及び預金残高が22億5千1百万円増加したことと、売上増により受取手形及び売掛金残高が20億7千4百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、仕入増により支払手形及び買掛金が25億9千5百万円増加したこと等により、29億4千4百万円増加し117億6千9百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金が増加した結果、18億4千5百万円増加し、185億4千6百万円となりました。

(2) 当第3四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」)につきましては、営業活動による資金が31億3千6百万円増加する一方、投資活動による資金が5億8百万円、財務活動による資金が4億3千9百万円それぞれ減少したことで、差し引き21億8千8百万円増加し、それに資金に係る換算差額を調整した結果、当第3四半期の残高は103億7千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の営業活動による資金の増加は31億3千6百万円でしたが、前年同四半期に比べて21億3百万円増加しております。これは税金等調整前四半期純利益が前年同四半期を14億8千万円上回る27億5千8百万円となり、仕入債務の増加額が前年同四半期に比べて22億6百万円上回る25億6千5百万円であったことと、売上債権の増加額が前年同四半期に比べて14億7千6百万円多い20億5千8百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の投資活動による資金は5億8百万円の支出であり、前年同四半期の29億4千3百万円の支出から大幅に減少しました。これは主に、前年同四半期に有形固定資産の取得による支出13億6千2百万円と無形固定資産の取得による支出16億4千万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は4億3千9百万円の支出であり、前年同四半期の22億5千5百万円の収入から支出に転じました。これは主に前年同四半期に借入金による収入27億円があったことによるものです。

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想については、概ね平成 17 年 11 月 8 日の中間決算発表時の予想通りに推移しており変更はありません。

[業績等の予想に関する注意事項]

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は業況の変化などにより、この資料に記載されている予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

[添付資料]

1. 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨、%)

科 目	当四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 17 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 平成 17 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	10,416	6,968			8,165
2 受取手形及び売掛金	7,094	5,152			5,019
3 たな卸資産	1,403	1,073			891
4 繰延税金資産	181	429			314
5 前渡金	2,205	1,663			1,846
6 その他	804	815			1,140
貸倒引当金	△30	△31			△26
流動資産合計	22,076	16,071	6,004	37.4	17,352
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1)建物及び構築物	2,281	3,086			2,987
(2)アミューズメント施設・機器	1,241	—			—
(3)器具及び備品	221	925			792
(4)土地	909	909			909
(5)建設仮勘定	—	3			60
(6)その他	1	2			1
有形固定資産合計	4,655	4,926	△270	△5.5	4,751
2 無形固定資産					
(1)営業権	210	—			209
(2)借地権	1,309	1,309			1,309
(3)連結調整勘定	—	42			39
(4)その他	99	347			103
無形固定資産合計	1,619	1,699	△79	△4.7	1,661
3 投資その他の資産					
(1)投資有価証券	1,640	1,546			1,420
(2)長期貸付金	201	1			1
(3)繰延税金資産	52	539			13
(4)その他	488	535			527
貸倒引当金	△187	△23			△21
投資その他の資産合計	2,194	2,599	△405	△15.6	1,941
固定資産合計	8,470	9,226	△755	△8.2	8,355
資産合計	30,546	25,297	5,248	20.7	25,707

科 目	当四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 17 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 平成 17 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	6,567	3,558			3,972
2 短期借入金	673	700			633
3 未払法人税等	825	351			221
4 未払金	859	1,068			953
5 その他	743	538			601
流動負債合計	9,669	6,218	3,451	55.5	6,381
II 固定負債					
1 長期借入金	1,541	1,875			2,016
2 繰延税金負債	248	—			—
3 退職給付引当金	152	130			139
4 役員退職慰労引当金	100	208			222
5 その他	57	62			65
固定負債合計	2,099	2,276	△176	△7.7	2,444
負債合計	11,769	8,494	3,275	38.6	8,825
(少数株主持分)					
少数株主持分	230	185	45	24.4	181
(資本の部)					
I 資本金	3,020	3,020	—	—	3,020
II 資本剰余金	2,289	2,224	64	2.9	2,224
III 利益剰余金	12,432	10,985	1,446	13.2	11,217
IV その他有価証券評価差額金	814	679	135	19.9	601
V 為替換算調整勘定	36	3	32	987.8	△68
VI 自己株式	△45	△295	249	84.5	△295
資本合計	18,546	16,617	1,928	11.6	16,700
負債、少数株主持分 及び資本合計	30,546	25,297	5,248	20.7	25,707

2. 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	28,506	25,692	2,813	11.0	34,434
II 売上原価	16,679	14,057	2,622	18.7	19,383
売上総利益	11,826	11,635	191	1.6	15,051
III 販売費及び一般管理費	8,848	10,225	△1,377	△13.5	13,296
1 広告宣伝費	1,788	1,756			2,286
2 運賃	616	552			770
3 給与諸手当	1,489	1,845			2,554
4 退職給付引当金繰入額	63	53			77
5 役員退職慰労引当金繰入額	23	42			57
6 減価償却費	224	269			361
7 研究開発費	2,438	3,477			4,231
8 賃借料	168	192			255
9 貸倒引当金繰入額	7	1			—
10 連結調整勘定償却額	5	7			10
11 その他	2,021	2,025			2,690
営業利益	2,978	1,410	1,568	111.2	1,755
IV 営業外収益	78	72	5	7.7	104
1 受取利息	18	5			8
2 受取配当金	26	28			28
3 賃貸料収入	10	7			11
4 受取手数料	13	12			17
5 為替差益	—	11			28
6 その他	9	6			9
V 営業外費用	64	13	50	360.5	24
1 支払利息	27	13			23
2 為替差損	29	—			—
3 その他	7	—			—
経常利益	2,992	1,468	1,523	103.7	1,835

科 目	当四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 17 年 3 月期 第 3 四半期)	増 減		(参考) 平成 17 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
VI 特別利益	205	4	201	4,651.9	313
1 固定資産売却益	—	—			1
2 投資有価証券売却益	199	1			306
3 貸倒引当金戻入額	5	2			5
VII 特別損失	439	195	244	125.0	221
1 固定資産売却損	—	—			11
2 固定資産除却損	19	66			70
3 投資有価証券売却損	17	—			—
4 投資有価証券評価損	67	—			—
5 関係会社株式評価損	11	—			—
6 減損損失	59	—			—
7 貸倒引当金繰入額	187	—			—
8 本社移転費用	76	128			139
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,758	1,277	1,480	115.9	1,927
法人税等	1,130	687	442	64.3	1,095
少数株主利益	53	50	2	5.2	60
四半期(当期)純利益	1,574	538	1,035	192.2	770

3. 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円未満切捨)

	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
I 資本剰余金期首残高	2,224	2,224	2,224
II 資本剰余金増加高	64	—	—
1 自己株式処分差益	64	—	—
III 資本剰余金四半期末(期末)残高	2,289	2,224	2,224
(利益剰余金の部)			
I 利益剰余金期首残高	11,217	10,782	10,782
II 利益剰余金増加高	1,574	544	776
1 四半期(当期)純利益	1,574	538	770
2 新規連結に伴う剰余金増加高	—	5	5
III 利益剰余金減少高	360	341	341
1 配当金	318	316	316
2 役員賞与	41	24	24
IV 利益剰余金四半期末(期末)残高	12,432	10,985	11,217

4. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,758	1,277	1,927
減価償却費	646	722	1,005
減損損失	59	—	—
連結調整勘定償却額	5	7	10
諸引当金の増減額	60	87	103
受取利息及び受取配当金	△44	△34	△37
支払利息	27	13	23
有価証券売却損益等	△104	△1	△306
為替差損益	20	3	△13
固定資産売却損益等	19	66	80
前渡金の増減額	△358	305	121
売上債権の増減額	△2,058	△581	△460
たな卸資産の増減額	△511	△354	△173
仕入債務の増減額	2,565	359	792
未払金の増減額	△84	62	△59
未払消費税等の増減額	59	22	53
役員賞与の支払額	△46	△27	△27
その他	463	△424	△625
小計	3,479	1,502	2,414
利息及び配当金の受取額	43	33	36
利息の支払額	△27	△10	△20
法人税等の支払額	△359	△493	△315
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,136	1,032	2,115

	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△51	△48	△67
定期預金の払戻による収入	61	111	111
有形固定資産の取得による支出	△503	△1,362	△1,498
有形固定資産の売却による収入	—	9	42
無形固定資産の取得による支出	△90	△1,640	△1,641
無形固定資産の売却による収入	—	—	1
投資有価証券の取得による支出	—	△1	△20
投資有価証券の売却による収入	246	8	337
子会社株式の取得による支出	—	△18	△29
貸付による支出	△230	△21	△250
貸付金の回収による収入	60	20	149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△508	△2,943	△2,864
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入	40	700	633
短期借入金の返済による支出	△99	△125	△250
長期借入れによる収入	—	2,000	2,266
長期借入金の返済による支出	△375	—	—
自己株式の売却による収入	313	—	—
配当金の支払額	△318	△316	△316
少数株主への配当金の支払額	—	△2	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△439	2,255	2,317
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	72	30	△15
V 現金及び現金同等物の増減額	2,260	375	1,553
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,111	6,529	6,529
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	28	28
VIII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	10,371	6,933	8,111

5. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

(単位：百万円未満切捨)

	当四半期(平成18年3月期第3四半期)						
	アミューズメント事業	施設運営事業	家庭用ゲームソフト事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	14,142	2,851	7,757	3,754	28,506	—	28,506
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	202	—	—	822	1,025	(1,025)	—
計	14,345	2,852	7,757	4,577	29,532	(1,025)	28,506
営業費用	13,005	2,742	6,267	4,264	26,279	(751)	25,528
営業利益	1,339	109	1,490	313	3,252	(274)	2,978

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な商品

- (1) アミューズメント事業……アミューズメント機器・景品等の企画・開発・販売
- (2) 施設運営事業……アミューズメント施設及び遊園地「浅草花やしき」等の運営
- (3) 家庭用ゲームソフト事業……家庭用ゲームソフトの企画・開発・販売
- (4) その他事業……バラエティ雑貨の企画・開発・販売、印刷関連事業、インターネットコンテンツ事業等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、278百万円であります。その主なものは、親会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

4 事業区分の方法の変更

従来事業区分を「アミューズメント事業」、「家庭用ゲームソフト事業」、「その他事業」の3区分としていましたが、当連結会計年度より「アミューズメント事業」を「アミューズメント事業」と「施設運営事業」に区分し、「アミューズメント事業」、「施設運営事業」、「家庭用ゲームソフト事業」、「その他事業」の4区分とすることに変更しました。施設運営事業は、従来アミューズメント事業の附属事業として「アミューズメント事業」区分に含めておりましたが、前連結会計年度の浅草花やしき事業承継等により事業規模が拡大したことに伴い、独立の内部管理単位としたため、事業区分を変更したものであります。

なお、前年同四半期のセグメント情報を、当第3四半期において用いた事業区分の方法により区分すると次のようになります。

(単位：百万円未満切捨)

	前年同四半期(平成17年3月期第3四半期)						
	アミューズメント事業	施設運営事業	家庭用ゲームソフト事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	10,519	2,114	8,039	5,019	25,692	—	25,692
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	130	—	4	846	981	(981)	—
計	10,649	2,114	8,044	5,865	26,674	(981)	25,692
営業費用	9,513	2,360	7,454	5,659	24,987	(705)	24,282
営業利益又は営業損失(△)	1,135	△245	590	206	1,686	(276)	1,410

(単位：百万円未満切捨)

	前年同四半期(平成17年3月期第3四半期)					
	アミューズメント事業	家庭用ゲームソフト事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	12,633	8,039	5,019	25,692	—	25,692
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	76	4	846	928	(928)	—
計	12,710	8,044	5,865	26,621	(928)	25,692
営業費用	11,821	7,454	5,659	24,935	(652)	24,282
営業利益	889	590	206	1,686	(276)	1,410

	(参考)平成17年3月期					
	アミューズメント事業	家庭用ゲームソフト事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	17,853	10,240	6,340	34,434	—	34,434
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	98	7	1,123	1,229	(1,229)	—
計	17,952	10,248	7,464	35,664	(1,229)	34,434
営業費用	16,966	9,380	7,206	33,552	(872)	32,679
営業利益	986	867	258	2,112	(356)	1,755

(注)1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な商品

- (1) アミューズメント事業……アミューズメント機器・景品等の企画・開発・販売、施設運営
- (2) 家庭用ゲームソフト事業……家庭用ゲームソフトの企画・開発・販売
- (3) その他事業……バラエティ雑貨の企画・開発・販売、印刷関連事業、インターネットコンテンツ事業等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、前年同四半期 274 百万円、前連結会計年度 358 百万円であります。その主なものは、親会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

〔所在地別セグメント情報〕

(単位：百万円未満切捨)

	当四半期(平成18年3月期第3四半期)				
	日本	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	28,422	83	28,506	—	28,506
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	3,332	3,365	(3,365)	—
計	28,455	3,416	31,871	(3,365)	28,506
営業費用	25,295	3,330	28,626	(3,098)	25,528
営業利益	3,159	85	3,245	(266)	2,978

	前年同四半期(平成17年3月期第3四半期)				
	日本	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	25,504	188	25,692	—	25,692
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	67	3,580	3,648	(3,648)	—
計	25,571	3,769	29,341	(3,648)	25,692
営業費用	24,119	3,536	27,656	(3,373)	24,282
営業利益	1,452	232	1,684	(274)	1,410

	(参考)平成17年3月期				
	日本	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	34,224	210	34,434	—	34,434
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	80	4,626	4,707	(4,707)	—
計	34,305	4,837	39,142	(4,707)	34,434
営業費用	32,430	4,601	37,031	(4,351)	32,679
営業利益	1,875	235	2,110	(355)	1,755

- (注) 1 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、当第3四半期 278 百万円、前年同四半期 274 百万円、前連結会計年度 358 百万円であります。その主なものは、親会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 2 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっており、アジアに属する主な地域は中国(香港)となっております。